

第1回 村上市総合教育会議 議事録（要約）

会議の名称	第1回村上市総合教育会議
開催日時	平成29年12月19日（金）13：15～
開催場所	村上市役所 本庁5階 第5会議室
出席者	<p>【構成員】</p> <p>高橋市長 遠藤教育長 勝間教育長職務代理者 佐藤教育委員 本図教育委員 大滝教育委員</p> <p>【傍聴者・報道関係】</p> <p>無し</p> <p>【事務局】 佐藤総務課長 木村学校教育課長 板垣生涯学習課長 小田管理主事 永田生涯学習課長補佐 石田総務課参事</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 意見交換</p> <p>① 中学校の部活動の在り方について</p> <p>② キッズウィーク・まつり教育について</p> <p>③ その他</p> <p>5 その他</p> <p>次回の会議日程について（事務局）</p> <p>6 閉会</p>
（総務課長が進行）	
1 開会	
2 市長あいさつ	
3 教育長あいさつ	
資料の確認（総務課長説明）	
4 ①中学校の部活動の在り方について ・意見交換	
総務課長	村上市総合教育会議設置要綱の第6条の定めにより高橋市長が行います。
市長	本日の意見交換会のテーマの説明、中学校の部活動の在り方についてですが、まず話題提供ということで学校教育課の方からお願いします。
学校教育課長	<p>資料1-1 部活動指導員の概要</p> <p>資料1-2 村上市学校運動部（クラブ）活動 外部指導者派遣事業実施要綱</p> <p>資料1-3 平成28年度村上市学校運動部活動外部指導者派遣事業 実績</p> <p>資料1-4 部活動実態調査</p>

資料にはありませんが新潟県の動きと村上市の動きについて簡単に報告をさせていただきます。

新潟県教育委員会では部活動の在り方検討委員会を設置して、部活動の在り方についてガイドラインを策定しております。今年度3月末までに出来る予定です。

また村上市の動きですが、村上市の教育委員会でも10月に部活動の在り方検討委員会を設置いたしました。

メンバーは校長先生、部活動の担当教員、保護者、社会体育関係者、外部指導者、総合型スポーツクラブの代表者の約15名で委員会を設置しました。

第1回の会議を10月に開催しましたが、現状と課題について委員の方々から意見等を出していただきました。

部活動を何時間行うのかという範囲について、また顧問教師の悩みということで、専門の教師が担当ではないケースなどがあるため、地域の派遣事業によって外部指導をお願いするしかないという声も聞こえてきました。

大会の数が多くて大変だという話も聞こえております。

また外部指導者の活用も必要だという話も出ました。

ただ外部指導者については確保ができるのかという部分と、外部指導者の役割について技術的ものだけなのか、または外部指導者が高齢化して若い人とのギャップの問題など色々な意見がでました。

生徒数が減少してクラブの希望の数が設置出来ないという課題も出ました。

今後委員会の中で出た課題を整理して村上市の部活動の在り方について、どのような方法がいいのかを意見交換していきたいと考えております。

学校教育課からは以上報告させていただきます。

市長

ありがとうございました。今の話を聞いて少なからず色々な視点をお持ちだと思います。みなさんから率直なご意見をいただきたいと思っております。

教育長

今まで色々な部活動の話し合いをしてきた中で、私なりに大きく3つ課題を感じております。

1点目は過熱気味の部活動、教員の多忙化にも繋がりがねない部活動のイニシアチブは誰の手にあるのかということです。

学校にあるのか保護者にあるのか生徒にあるのか外部指導者にあるのか、そのあたりが1つの課題だと思っております。

2点目は学校を支援するための市の支援策です。説明にも大きく2つありましたが、学校指導員の今後の位置づけの必要があるのではないかとということです。それから外部指導員派遣事業。ボランティア的に行っている活動もあります。どういう支援が一番いいのか、今後していかなければならないのかということです。

3点目は総合型スポーツクラブとの連携です。新規にどんな協力を求めていったら学校の助けになるのかが課題だと受け止めております。

市長

課題の部分の改善の見通しのイメージはあるのですか。

<p>教育長</p>	<p>1点目の課題のイニシアチブは誰が取るのかというのは、学校側も苦労していると思います。</p> <p>色々な大会があり生徒も全部出たいと言っています。それに答えようとしていると学校がパンクしてしまいます。土日も働かざる負えなくなってしまうのです。</p> <p>かといって教員が出なくてもいいかというやはり教員が引率しなくては大会に参加できないことがほとんどであります。</p> <p>そのようなことがネックになっていると思います。</p>
<p>市長</p>	<p>部活動は何のためにするのですか。</p> <p>学校教育のなかで必要とされているという認識の中だと思うのですが、部活動は学校教育の一環であって、職務の中でやらなければならない。職務の中でやるためには人員の配置が学校でないと今のような時間外労働時間になる。</p> <p>総合型スポーツクラブにすべてお願いすればいいのではないか。</p> <p>そこで外部指導員も確保し、自らの職員を派遣し教育の中におりこむ形でそういう意識づけをしながらおこなえばいいのではないか。</p> <p>予算の問題など色々なことはあると思いますが、こういう状況にあることを放置している事のほうが問題だと思うのです。早急に手を打っていかねばいけない。今ようやく検討委員会を立ち上げたというわけです。早急にある程度の方向性を決め、着手するというのが大切だと思います。</p> <p>色々な課題を抽出する中でそれが確保できるのかという議論はあってもいい、それが本質ではなく、そのために検討委員会を開いているわけであり、なんらかの解決策などを具体的に提示していくことをしなければいけないのではないか。</p> <p>質問ですが資料1－3の外部指導員派遣事業で朝日と神納が事業をつかっていないのはなぜか。</p> <p>また各中学校の部活動でハイフンが入るところはないのか。</p> <p>全中学校が全種目をもっているということですか。</p>
<p>教育長</p>	<p>そうではないです。</p>
<p>市長</p>	<p>たとえば岩船中学校にはなにかの部がないということになるのか。</p> <p>そうするとこの表には意味がないのではないか。</p> <p>学校として外部指導員を100%に近い状態で確保しながら、教員側の手当てをしっかりと連携させているところもあれば、そうではなく部では外部指導員はいらないというところもある。学校職員がそこをフォローしなければならないから時間外が増え大変な状態になっているとうケースがあると思うのです。</p> <p>外部指導員をつかっていない部に関して、学校側はどのような意向を示していますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>部がない学校もたくさんあります。申請があがってきているのがこの部だという</p>

	<p>ことで、活動していない部の資料は不足しています。</p> <p>学校現場では、担当教員が専門の部活動であった場合は事業を活用してないが、専門外の部活動を担当する場合事業をつかっています。</p>
市長	この表から何を導き出しているのですか。
学校教育課長	資料1－3のような利用実績ということで、村上第一中学校だと利用率が高い。山北中は専門の部活動がないですが、地域の方の派遣で部活動を行っています。
市長	村上第一中学校と同じくらい部活動をもっている学校はありますか。
教育長	ないです。
市長	村上東中学校と同じようなやりかたの学校はありますか。 村上東中学校含めて残りの中学校も同じような部活動ですか。
教育長	<p>荒中は野球・サッカー・卓球・バスケット・テニス・柔道部もあります。</p> <p>保護者会の中で手伝いしているのかもしれませんが。</p> <p>外部指導者派遣事業で1つ問題があります。部活動の時間に外部指導者も来て、顧問も来て指導をしている場合はいいのですが、外部指導者は働いている人がほとんどで夜の時間帯、土・日でないと指導できません。そのため学校の部活動の時間帯でない夜6時から始めるとか7時から9時までするのは部活動ではないのです。</p> <p>部活動以外の部活なのです。そうすると子供は誰に指導されようと夜勉強もしなければならぬのに、部活が終わってからまた同じメンバーで部活を強要される。部活動なのですが部活動の指導以外の時間にしているというのがほとんどだと認識しています。</p>
市長	<p>それは外部指導者ではないですね。</p> <p>部活動をスタートさせる時は顧問がいて外部指導者がいるが、そのあと顧問はいなくなって自分の仕事をするという部活動。それは学校の時間内でやれる外部講師を学校に派遣するという仕組みを作るために総合型スポーツクラブに依頼すること。スポーツクラブは日中そういう風に仕事をしているわけだから、その中のメニューとして組み込んでやるという形になれば今みたいな状況は発生してこない。</p> <p>あとは今までの歴史、経緯のなかでどうしてもあの人に教わって強くなっていくという固有名詞があります。</p> <p>その人とどういう風な関係でいい関係を作りながらシフトしていくのかはとても大きな問題だと思います。</p> <p>教育や訓練をされてない方が自分の経験のみで積み上げてきた成績を元にして子供たちを指導すると学校現場との教育方針の対立がでてくる。</p>

	<p>そういうことをやるためにはきちんとした組織の中で学校をサポートしていかないといけないと思う。</p> <p>あとは強い部活だとどんどん上を目指そうと保護者会もそういう形で動かざるをえない。表には声は出さないかもしれないが色々な思いがある。それを我慢しなければいけない状態が学校にあること自体がおかしいと思う。</p> <p>そういう中で部活動が行われているのであれば、外部指導の派遣事業とは言えないと思う。</p> <p>それと外部指導をするにあたって資料1-3の年間報酬費、100日以上で22,000円はありえないと思う。責任もなにも発生しないと思う。</p> <p>大変ななかで時間を作って教えてやっているのだという意識しかもたないと思う。全員が全員そうではないと思うが、率直な感想です。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほど話が出ましたが、外部指導者をおけば先生は休めるけども子供たちは休めない。</p> <p>専門の外部指導者が指導すると過熱して生徒がどんどん大変になってくるというものもあるし、生徒の中でもこの部活がやりたくて入った子もいるけど、自分の学校にはやりたい部活がなくて仕方なくこの部活に入ったという子もいます。</p> <p>あまりにも過熱しすぎると子供たちにとっての大切な時間がなくなり、健康被害がでるかもしれないのでその辺の線引きもすごく大事だと思います。</p> <p>市長さんがおっしゃった総合型スポーツクラブの方が部活の時間に指導に来てくれるのはすごく良い案だと思いますが、各地にあるスポーツクラブの中で各地にある部活動を指導できる人たちがいるのかが知りたいです。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>総合型スポーツクラブの全部の実態を承知しているわけではないのですが、正直今の部活動を専門に指導できる数はそろっているとは言えない状況にあります。</p> <p>ですが市長がお話をしたとおり、あくまでも今そこにいるスタッフではなく総合型スポーツクラブがその事業を担うという観点において、総合型スポーツクラブが専門的なスタッフを確保するというのはあり得るのかなと思います。必ずしも総合型スポーツクラブのスタッフだけでやるというわけではないです。総合型スポーツクラブ事業が担うというのは可能だと思います。</p>
<p>教育委員</p>	<p>最初にお聞きしたイニシアチブですが、これは絶対学校がとる、譲ってはいけないというのが私の認識であります。ようするに総合型スポーツクラブであれば目的意識を持った子供が入る。ただあくまでも学校という校舎の中での部活動で、明るく楽しい生活を運営するのだという観点から先生方が一致団結してみんなで頑張って育てようと。ただそこで担当の先生がいなくてか今までもさまざまな問題があり、先生方も異動があり教科との関係で専門の先生を呼ぶことができない。またこれからの少子化の問題も含めて外部指導者の有効活用をはかる。ただ学校側は部活を専門に頼んでない先生を副顧問でもいいので子供たちの心の発達の方から、部活のなかで妬みやイジメなどを相談する相手は学校の顧問という形で存在しないと</p>

教育委員	<p>悩 みなどをどこに持っていったらいいのかと考える。</p> <p>古い考えかもしれないが部活というものに夢とロマンを持って先生方が良い子に育てようという視点を忘れないできちんともったうえで対策をとる。</p> <p>全員部活に加入するというのが段々崩れて、文化部とか色々あるが、それはそれで新しい考えでやむを得ない。基本は学校で子供たちを勉強でまたは部活で、そこを格としたいうえで支援策を考える。</p>
教育委員	<p>その学校によって部活の在り方は違うわけではないのですよね。村上市としてはたとえば部活を勝利目的とするのではなくて、他の学年との繋がりや授業では得られない社会性とかを身に着けるために成長の場とか、そういう部活動としての目的みたいなものはしっかり明確にして、最初に入學するとき親や子供たちに教示することで過熱気味になるような部活がないように行っている。</p>
教育長	<p>学校によって違うのではないか。</p> <p>言うように部活動の理念みたいなものは書くとは思いますが現実問題として勝利を目指すのではないのか。</p>
市長	<p>私自身は教育活動の一環としてそうあってほしいとベースには思っています。</p> <p>やはり部活動は技術を磨くことも大切かもしれませんが集団との関わり、価値を高めていくというコミュニケーション能力とか人との関わりで切磋琢磨するような部分を養っていくという教育の一環として部活動はあってほしいなと思います。</p> <p>その他で市としてはどのようにするのか、過熱して時間的にも余裕のない先生方がいるようであればやはり外部指導者を派遣していく形をとっていき、子供たちの性格などは学校の先生方はよく知っていると思うので、そういう関わりも教育の一環だと思うのでそれは大事にしながら外部派遣などで対策をとっていく。</p> <p>その方法としてどうすればいいかなんかと思いますが。</p> <p>まさにその通りだと思います。</p> <p>私も先ほど言った通り、部活動は教育の一環だと思うので、そこが過熱してはいけない。でも過熱する。過熱した時にうちはそこまで望んでないということはたぶん学校現場では言えないと思う。その中でどんどん伸びていこうというのをその枠の中に収めてしまう必要もないし、その子供たちはたぶん自分で見つけて磨いて行って良い成績を国内・世界で出していくのはあると思うが、それを否定するわけではないが学校教育のやれる範囲の中でここまでだよということを言えるかどうか非常に悩ましい部分ではあります。</p> <p>でもやはりベースはスポーツの学校に行けばいいという話になりますが、そこは我々が担う小中学校の義務教育の部分ではないと思うので、本来あるべき教育の形がそこにエネルギーをとられて普通に機能しないのであれば、普通に機能する仕組みを作ろうという話です。その時の1つの対策が総合型スポーツクラブという形で学校の時間の中で納まる。あとは自由に頑張るという形ではないか。</p>

教育委員	<p>余談ですが、 平林中学校の野球部の3年生が引退すると人数が10～11人で、その中に女の子もいます。 ただ野球を楽しみたいという子供が毎日の部活動の中で友情がわいたりすることも大事にしたいと思います。</p>
市長	<p>たぶん子供たちは多くを語らなくても、そういう風な選択を自らしていると思います。周りにそれしかないわけなので、女の子が入ってきても自分のチームメイトとして一緒に同じレベルで行っている。 この前、少年スポーツ野球大会で聖籠・新発田・新潟あたりでもレギュラーの女の子がいました。子供たちは部の数が少なくても自分で判断して入部するのではないかと。</p>
教育委員	<p>部活のなかで指導者がいなくても生徒同士で切磋琢磨できるのではないだろうか。 自分たちで練習方法などを考えたり、今は色々な情報も取り入れることも出来るのでお互いに向上しあって、それを先生方に見てもらったりするという関係も大事なのではないか。外部指導者がいれば良いが、自分たちでも工夫して育っていくということも良いと思う。そういう部活もあっていいのではないかと思う。</p>
市長	<p>そういう風な部活の在り方を子供たちが模索した時に学校がしっかり受け止めてあげられるような環境作りが必要ですね。保護者から何か言われても意思の疎通ができていればいいと思う。 ボタンの掛け違いをしてしまうと学校に批判がくる。 行政もそうだが学校はどうしても聞き側に回ってしまうことが多い。もっと前になるべきなのだろうがとても出にくい状況にある。 特に昨今そういう状況になってきているので同じレベル、目線で議論できるような関係を作るのが大事だと思います。</p>
教育長	<p>さまざまな考えの人がいるのです。学校で部活の考え方をこうしようと仮に校長が思ったとしても、悪いがそのようには徹底できないと思う。 部活に命をかけているような先生もいます。でも全体として部活動が意味ないとか、やらなくてもいいなんて思っている中学校の教員はいないと思います。 みんな価値は認めていると思う。その中で程度の問題だと思うのです。 教育委員会は平日1日、土日のどちらか1日を部活禁止日にしなさいと通知をだしています。しかし現実には実態調査をしたらほとんどの土日に部活動をしている学校があることがわかった。手当の関係で正確に調べたので間違いないです。 子供のなかにもほほど楽しめればいい、みんなで活動できればいい、やはり上を目指したいという子もいます。親の間でもそうです。</p>

<p>教育委員</p>	<p>団体種目と個人種目でも違ってくると思います。個人種目だといっぱいやりたいと思う子はやればいいし、団体種目だと無理やりやり出される場合もある。</p> <p>なかなかみなさんの意見を集約するというのは難しい現状なのではないかと思えます。1回目の部活動の在り方検討委員会を通して実態把握をさせてもらっております。</p> <p>中学校の部活の話がでていますが、1つの例として小学校でミニバスが盛んだった時期がありました。そのミニバスが盛んだった時期にスポ少に移行になって学校単位での部活がなくなり、今もスポ少単位で行われています。中学校の部活がそういう方向に移行できるかは議論しなければならぬのですが、中学校の中体連という組織が郡市大会を運営し、下越大会、県大会へとあがっていく。中体連が郡大会を行わないという方向に変わってきている。そういう中で部活の母体が学校から総合型スポーツクラブのような団体に移行になるようであれば、やはりチャンピオンスポーツですから、勝つことを目的にしないクラブはあり得ないので、そういう中で活動を位置付けていくのかを担っていったらいいのかなと個人的には思います。</p> <p>そこに学校の部活をどういう風に繋げていくのかを我々が知恵を出していかなければいけないところで。それを上手く連携が図れていけば、新しい形の部活ができあがっていくのではないかと期待はもっているのですが、どのような方向で一步を踏み出していけばいいのか、確たるものは自分でもまだ決まっていません。</p> <p>ただこの間の部活動の在り方検討委員会の中で地域のスポーツに関わっている方々の話の中で、誰一人勝利至上主義がいいという話はなかった。このスポーツの楽しさを教えてあげたい。このスポーツがこれから自分が生涯生きていく中で楽しいものだということを体得させたいという思いを皆さんがもっていたので、そういう思いをもっている方々が児童・生徒に教えていただくのであればいいと思いました。</p>
<p>市長</p>	<p>今の話を聞いてそのまま先に進んでいくとちょっと危険かなという部分がありました。中体連が郡大会をしないという流れの中で学校教育から手法的に部活動を外していったら他の担い手を選択していくということになる、総合型スポーツクラブが学校の組織として学校の教育方針に基づいてやっていくというのであればいいのですが、まったく離してしまうと部活動が学校教育の現場にあるということの意義がなくなってしまうのではないかと。</p>
<p>教育委員</p> <p>市長</p>	<p>私は学校の中でやる部活動は学校の考え方の中でやり、そこから先を目指す子が地域で集まってやるというか。</p> <p>今でも複数校で大会に出場できますよね。</p> <p>子供たちを中心に子供たちの意向をくんだうえで、みんな出られる仕組みを手法的に選択している話です。別々の学校なわけだからそれぞれの教育方針違</p>

教育委員	<p>うだろうし、子供たちの人数も違うだろうし、育ち方も違う中でその1点に絞ってだけ、数を確保すればその競技に出られる。そういうやり方でも他校との連携を踏まえてチームの中で子供たちが切磋琢磨していくという過程が大切だからという選択肢でやっているのだと思っています。</p> <p>それが結果としてスポ少というのは、学校の指導ではなくてチームになっている。前日、朝日のスポ少の子供たちが東北大会に出場しました。良い子ばかりでした。そういう視点も良いのはわかる。わかるがそれが1つの大きな選択肢だと言うのは危ういのではないかと思います。</p>
教育長	<p>別の角度ですが、保護者がどんどん過熱して部活に力を入れていきたいという思いが出てくるのは当然そうなのでしょうが、4月1日に部活動指導の制度化についてというものも出ています。学校側としてはきちんと学校だよりなどでそのことを常に保護者に発信していくのが大事だと思います。5月の学校だよりに出している学校が3校あります。学校としては部活動の在り方はこういう考えでこういう目的でやっているということを発信している。先生方もそうやって努力していることは大事なことだと思います。言われっぱなしではなくて学校での行事などは、考え方を学校だよりで発信していくことが必要なことだと学校だよりを読んで感じています。</p> <p>読まない方もいるかもしれないけれど、出さなければわからないし、残っていくので。</p>
教育委員	<p>外部指導者も保護者も学校には感謝する声が検討委員会でも多く出されました。たとえば旧村上市に住んでいる教員が大会に出るたびに朝早く山北まで行ってマイクロバスに乗って子供たちと一緒に新潟に行く。終わって山北に戻ってから、夜遅くに村上に帰る。大会に出るには教員が引率しなくてはならない。本当に先生には申し訳ないという声が聞こえてきます。</p> <p>外部指導者も顧問の先生に気をつかって、子供同士の問題は顧問に任せ、決して顧問のことを生徒が非難しないように協力するなど。</p> <p>本当に多くの方が部活動に気を使ってくれているということを感じました。</p>
教育長	<p>里育というまちづくりの事業を利用しながら、別なサイドからも協力してもらおうということが必要なのかと思う。</p>
教育委員	<p>あとは駄目なものは駄目だということが大事だと思う。</p> <p>頻繁に土日に練習試合などをいれているところがある。</p> <p>審判なども必要で審判のライセンス的なものもボランティアでとってもらっていると思うので、無理することないよと言える学校でありたいですね。</p> <p>そうなると行き着くところは校長や教頭の管理能力が必要で、学校だよりなどに載せて言葉をあげる。</p>

市長	
教育長	教育長そこは毅然として学校は言えますか。
市長	校長が盾になって保護者に理解を求めるといけないという事ですか。
教育委員	<p>それが現実問題として学校現場ですっと協力してやっていかなければいけない、校長先生がそこまで毅然として言えるかということ、受け身の状況の中ではかなりのエネルギーがいるなど思うのです。逆に言うと相手側の保護者を含めてそういう状況を真摯に受け止められる体制も双方で作っていかなければいけない。</p> <p>元々は教員が大変なので別の担い手に委ねれば、空いた時間を子供の教育にエネルギーとして投入できるという話です。このことも検討委員会で存分に議論してもらえばいいと思います。</p>
教育長	<p>元々、教員の多忙化解消のためにこういう話が出てきている。ですがそれだけでは収まらなくて部活動は何のためにあるのか、根本的・理念的な話にどうしてもいきますよね。そうすると校長先生と保護者だけの話でやるのではなくて、あくまでも村上市の教育として部活動はこういう風にやってほしいという方針をきちんと出した方がいいのではないかと思う。教員の多忙化に関しては、私は学校現場がわからないのですが、この資料としてはまったく見えてこない。どの学校でどの部活があって、今どういう状況なのか。教員の多忙化というけれど部活動の負担がどの程度先生に掛かっているのかという実態が見えてこない部分があります。</p> <p>文化部もあるが、そういう部は関係ないのか、それも合わせて村上市に指導をしてくれる人がどのくらいいるのか。前に指導者リストみたいなものを調査したような記憶があるのですがそういうのは活用されてないのですか。そういう資料を集めることから始めるといいのではないかと思います。</p>
市長	<p>文化部の方ですが吹奏楽部なんかは地域からも色々な面で期待されていて、忙しい思いもしております。スポーツだけではない大切な部活動だと思います。</p> <p>外部指導者でスポーツに関する支援は若干ですがあるのですが、文化部のほとんどは保護者会でお金を出し合って、その会費で外部指導者を頼んだり、保護者負担もかなりあるのではないかなと思っております。</p> <p>先ほど校長先生が盾にならないと言ったのですが、教育委員会が通知を出しているのなら、教育委員会も盾にならないといけないのではないかと自覚しているところです。</p>
市長	<p>国の打ち出した部活動指導員は、ある程度予算をつけて効果を見極めながらしっかりした人物を見つけて行わないといけないと思います。</p> <p>今、見附市でおこなっているのですが1人当たり40万くらいでしょうか。</p>
教育長	職員と同じ感覚でやらないといけないと思う。

<p>市長</p>	<p>主導できる、責任が持てる、研修もしっかりうけさせる。そういうことを全部教育委員会の規定で作って、報酬を保障してあげないと出来ない状況だと思います。いくら学校側がほしいと言ってもバランスを考えながらしていかなければいけないと思います。</p> <p>もし導入するにしても時間がかかると思います。</p> <p>時間にも制限がありますので、1つ目のテーマは結論としてまとめあげるというものでもないと思いますので、次に進めたいと思います。</p>
<p>②キッズウィーク・まつり教育について ・意見交換</p>	
<p>学校教育課長</p>	<p>資料2-1については国が出している資料です。</p> <p>キッズウィークについて何なのかというと、夏休みなどの長期休業日から平日に休業日を分散化し大人も有給休暇をとり、大人と子供が共に休日を過ごすということをしよというのがキッズウィークです。</p> <p>キッズウィークをすることによって、地域の行事に参加し伝統文化を育成したり、大人と一緒に平日に休みを取って旅行に行ったり、経済的な効果を図ったりする狙いがあります。</p> <p>(資料P10参照) 学校休日日の分散化イメージがあります。夏休みが8月31日までだったのを30日まで夏休みにして、31日をたとえばとびいし連休などになったときに休日にあてて休みを長くし、みなさん楽しんでもらえばいいのではないかという考え方です。</p> <p>この休みの開始については国の法律では9月13日にすでに公布されています。国ではすでにこのように動いています。</p> <p>資料2-3がその資料になります。</p> <p>このキッズウィークと合わせて資料2-4で七夕まつりの実行委員会の方から、祭り教育をお願いできないかという要望が市長に届いております。</p> <p>要望については、市内の小中学校の生徒に祭りへの参加の斡旋のお願い、働きかけをお願いしたいという内容です。</p> <p>また学校の授業などで地元の文化・お祭りの学習の取り入れをお願いしたいという旨の要望であります。</p> <p>このキッズウィークをうまく使ってそういった地域の祭りや行事につかうことができないかという考え方があります。</p> <p>村上市では、休業日の扱いを11月の定例教育委員会で提案をし、来年度から夏休みや冬休みを短縮して分散化が出来るように了承をいただいたところです。</p> <p>教育委員会としては条例や規則で改正はしたのですが、地域の企業や団体がそれによってくれないとキッズウィークの効果や考え方が進まないと思います。ただ教育委員会としては夏休み・冬休みを短縮して学校によって考え方があれば使っている</p>

	<p>ですよと制度的には整備しました。それをうまく活用していくかどうかは今後、企業や団体と連携をしてどのように進めていけばいいかというのが、これからの課題になってきます。</p> <p>是非、みなさんで今日はそのあたりを協議して色々なご意見をいただきたいと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>学校の裁量で休みをずらせる仕組みになっているのではないですか。</p> <p>年間必要な時数があって、それを確保できれば学校休業日は学校裁量ではなかったですか。</p>
管理主事	<p>学校裁量ではありません。村上市の管理運営・規則の中で1学期は4月1日から7月31日、2学期8月1日から12月31日まで、3学期は1月1日から3月31日までの期間としますという学期の始まりと終わりが決められています。その他に規則で夏休みを7月25日から8月28日までとしています。学期が決まっています。長期休業日の始めと終わりも別に決めてあるというようになっております。</p>
教育長	<p>1日だけ持ち出すことはできるのだよね。</p> <p>たとえば、村上小学校が7月7日を平日大祭で休みにしたい場合、その代り夏休みを早く終わらせるというように、今までも1日だけはよかったのだよね。</p>
管理主事	<p>はい。</p>
市長	<p>市内は2学期制、3学期制をとっているのではなかったですか。</p>
管理主事	<p>今2学期制を行っている学校はありません。</p> <p>ただ2学期制の届け出をだせば許可をするという規則になっております。</p> <p>以前に村上東中学校が2学期制を取り入れた時期はありますが、規則としては変わっていません。</p>
教育長	<p>英語の授業について説明してください。</p>
管理主事	<p>この次の学習指導要領で英語科の時間が増加設定されることとなりました。年間35時間の増加で、現在の標準時数が970時間、これはどこの学校でもおこなわなければならない時数にプラス35時間加わって、1005時間おこなわなければならない時間で、今各学校でだいたい1050時間くらいの時間を見えています。その中で970時間を引いたのが、いわゆる余った時間。その時間の中で年間の学校行事、入学式・卒業式・それに関わる練習などの時間を差し引くとだいたい平均で約35.9時間余るのですが、計算上はそれでもいいのだが、冬期間などにインフルエンザで3日間学級閉鎖を行った場合などが出ると時間が足りなくなります。そ</p>

	<p>うということが考えられるので、長期休業日の夏休みを3日、冬休みを1日短くして4日間詰めて、その4日間の時間を運用してインフルエンザ等に対応できるような時間を生み出すということで先般、管理・運営の規則を改正しました。</p>
教育長	<p>小学校にとっては意味があるのですが、中学校側が少し迷惑している感があるのかもしれない。</p>
市長	<p>村上の七夕祭りの有志のみなさんからこういう提案があったのでぜひ総合教育会議の中で話し合っていたきたい。</p> <p>伝統芸能の七夕まつりだけでなく、各地区にある伝統行事などいろんな所がそういう形で連携できるといいと思います。</p> <p>教育委員会で斡旋してほしいとこの文章に書いてあるが、これは反面、人手不足の意味もある。伝統芸能をしっかりと後世に繋いでいくというふうに。</p> <p>出来るところを応援できればいいと思います。</p> <p>前に村上大祭の運営に携わっていたものですからその時のお話をさせていただきます。村上大祭運営委員会・村上祭り保存会の方からは、村上小学校・村上南小学校に限らず合併前も含めて岩船郡の全部の小中学校に引手、乗り手、乗り子を、乗りたければ来てくださいという話を文章で出して、教育委員会の方にお話にあがりました。村上大祭は元々、近郷、当時の村上藩の領土全部を含めたお祭りでしたので、そのようなことを含めてやろうということでやらせてもらいました。</p> <p>今現実問題として、村上小学校・村上南小学校に限らず、瀬波・神納・朝日から来ています。これは人口が広がって親戚まきも増えているというのもあります。実態としてそういうのがあるのでなんらかの機会にどういう手法が一番いいのか認識をいただきながら広報していただければと思っています。</p>
教育長	<p>国の方が新たに定めたキッズウィークですが体験的学習活動と休業日、これを設置できるということになったのです。キッズウィークという言葉そのものは出てきていません。体験的学習活動なので市長も願う祭り教育を総合的な学習の時間と結びつけながら学ぶ。7月7日を休みにするとか、または7月8日休みにするとか、村上第一中学校だと瀬波祭りもかかわってきますが。</p>
市長	<p>地域、地域で判断してもらえばとおもいますが、金屋・保内あたりだと8月23・24日に獅子踊りで、荒川では各地域で獅子踊りをやっていたのだけれど、なくなってきた。それを復活させようという動きがある。やはり子供たちも生き生きとして、そこに取り組みをもつことがどんどん広がって地域の繋がりになればと思います。</p>
教育長	<p>先日、村上小学校の3年生がミニ村上大祭というのを行っていました。これも伝統的なものですが、あの年代から刻み込んでいく、染み込ませるということはある意味、教育としてはとても重要で、あの経験はとても大きいものだと思います。</p>

<p>教育委員</p>	<p>祭りに関してですが確かに子供は少ないというのはあるのですが、子供の中にも本当に祭りが好きな子とそうでない子がいるのです。</p> <p>そうでない子は祭りそのものが嫌いというよりは町内とか集落単位の間関係が上手く築けない子が多い気がします。自分の経験から思うのですが。やはり溶け込めない。特に祭りになると団結が強いのである程度組織みたいなものが出来上がっていて、そこに中々入っていけないという子がどうしても出てくるような気がします。小学生のうちはあどけないのでそれでもいいのですが、中学生になるとなかなか難しい。こういう取り組みは非常に良いと思うのですが、そこら辺の地域における人間関係みたいなものを合わせて考えていかないとダメかなという気がします。</p>
<p>市長</p>	<p>本当にそうですね。教育の持つ力というのは大きいのだと思います。</p> <p>みんなそういうふうになっていく、言うように切実な問題でどこの地域でも抱えていることだと思います。</p> <p>集落とか町内の仕事1つとってもそうですが、みんなでやろうねという仕事にも出てくる人もいれば出てこない人もいます。まさに日常生活に結果として跳ね返ってきている。その根っこ作りの学校現場というのは非常に重要ですね。</p>
<p>教育委員</p>	<p>そうですね。親でも溶け込めない人もいますから、そうすると子供もなかなか溶け込んでいけないというのはあります。</p>
<p>教育長</p>	<p>なかなか強制は出来ないと思います。</p> <p>人形さま巡りのオープニングセレモニーも村上小学校の4年生が毎回参加するのですが、最初のセレモニーの部分は傍らで見ている、その後のオープニングに参加する。そういう上手な参加の仕方をしています。</p>
<p>教育委員</p>	<p>1つ確認の意味で聞きたいのですが、長期休業日夏休みを合わせて4日休みを減らすのは、題目としては英語の授業ということですか。</p> <p>また資料2-5の新旧対照表の第7条の(5)の体験的学習活動等休業日を新たに設けていいというのは夏休み4日を減らした分ではなくて、新たに減らしてもいいという解釈でよいのですか。</p>
<p>管理主事</p>	<p>減らした4日を使って体験的学習活動等休業日として、学期中に休みを作っているということですか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>英語の35時間が入ったためですか</p>
<p>管理主事</p>	<p>小学校の場合は英語の授業があるので実質4日のうち、村上市内の村上小学校・村上南小学校あたりだと恐らく1日は体験的学習活動等休業日で、7月7日を休みにしますが残りの3日は英語のための授業日とすることになるかと思っています。</p>

教育委員	その4日のほかに体験的学習活動等休業日を設けなくてもいいのですか。
管理主事	設けなくてもいいです。設けなければ単純に授業になります。 しかし設ければ休みをもう1回作ることができます。
市長	基本的には国の流れからいくと設けるべきだということであれば、村上市としては旧朝日地区や旧神林地区なども基本的には設けていく方向性はビジョンとして示す必要があるのですか。
教育長	それは校長会でも話しています。体験的学習活動等休業日が位置づいた経緯を話して地域・そして保護者とともに時間を確保する。そういう目的での休業日の設置なのでそれにあうような活動を位置づけていただきたいという話はしてあります。ただ強制的に何日やりなさいという指示はしていません。
管理主事	キッズウィークの国の目的とは、会社・企業も巻き込みながら休業日を分散して秋休み、シルバーウィークのようなものを5日持ち出して、その前後の土日と結び付けて9日間連続の休みにしようとする、観光も分散化でき人の流れも混在しないとか新たな時期の観光が生まれるとか、そういうことに活用したいのだと思います。しかし、中々今の時点で村上市ではそこまでは出来ないと思いますが、制度上このように設定させてもらいました。
市長	この休みの設定はいつ頃までにとかはあるのですか。
教育長	平たく言うと平成30年度の設定については、29年度中に報告を出してもらい、教育委員会の方で承認し、学校の方に返すと考えています。初めてのことなので3月2日までの間に計画を各校に出してもらいたいと伝えてあります。
市長	学校が希望を出すのですか。
教育長	そうです。
市長	なんの話し合いもなく。
教育長	休業を設定するのは学校です。
教育委員	その4日間ですか。村上市内だったら7月7日は休みとかですか。
管理主事	それも各学校が決めるのです。学校が休みを決めるのであってこちらが何日を休みにしてくださいというものではないです。

市長	970時間に35時間たすとギリギリ範囲で、インフルエンザで学級閉鎖になったときなどのために今回4日、休業日を縮めたという解釈でいいのだよね。
管理主事	はい。ただしれども実質は少し足りません。 今、970時間が標準時数でいたい1040時間から1050時間くらい授業時数としてもっている時間なのです。そのうち小学校としてある行事的なものを差引いて平均化すると35.9時間、約36時間くらいなのです。先ほど言った35時間を取るとその中でも3日間学級閉鎖をするとだめなので休みを作るということです。
教育長	さっきの話の中で、1日はその休みの中でとれるけれど残りの3日は英語にあてなければならぬという話ではないのだよね。
管理主事	時数確保に役立つと、ほかの選択肢としては。
市長	4日キッズウィークとしてとってもいいのですよね。
管理主事	休んでもいいかもしれないけど、それは危険だということです。 今、4年生以上で月曜の6時間目が一コマ空いているのです。30コマ時間割があるのですが、そのうちの1つ空けてそこは授業をなくして職員会議を行ったり子供会などをしています。それすら埋めれば35時間とれるのです。または掃除の時間などを上手にずらすと1日15分の時間を毎日とると15分で一コマだよ。45分だよと言っても確保できるのです。 でも多忙化に拍車がかかるので教育委員会では4日間確保して使ってもいいですよとっております。
教育長	たとえば今家庭訪問を平日の4月の後半頃に行っています。8月の夏休みに行って今まで子供たちを早上がりさせていた分を勉強の時間に変えて時間を生み出すというふうなことや、文化祭を休みにせず、平日行って代休の1日分を浮かせるなど授業時数を生み出すというのは各学校で工夫してもらっています。
市長	村上大祭の場合だと地元業者は6日・7日お休みになる場所もあります。まさにそういうふうな仕掛けですね。そういうのは長らく歴史の中で定着してきたことと今こうやって国の方の意図に基づいてやるのでは全然違います。でも無理のない範囲でシフトできていくのであれば、ある意味そういう時間を共有してもらえと思えます。ぜひ教育委員会として、また総合教育会議でしっかりと受け止めて前に進めていけたらと思っております。

③その他 ・意見交換	
市長	<p>県の小中学校PTA連合会、それと安全互助会という組織をもっているのですが、もっているのは共済です。子供たちの保険の部分。</p> <p>年度当初になると一律に掛けている保険と任意の保険。任意の保険は24時間保険であります。</p> <p>任意の保険は24時間子供たちを守るという仕組みになっています。</p> <p>県全体で17万人くらい加入し、小中学校の保護者も含めてなので会が大きく、高額な補償と定額で加入できるという仕組みになっています。ただ入っている子と入っていない子がいるので今特に自転車とか対物の障がいとか色々なケースがあるので、たとえば公費で一律に子供たちに最低限度の一番安い保険を掛けるというふうな仕組みを考えることは有りだと思いますか。なしだと思いますか。</p> <p>各校でPTA行事をやる時はその都度かけています。それがなくなるというメリットなのですが、子供全体を同じレベルのセイフティネットのなかに入れ込むのだという感覚なのですが。</p> <p>ただ、問題は今まで頼んでいた保険会社さんを圧迫するようなことになるかと困るなどは思っています。</p>
教育委員	<p>私は、詳細についてはわかりませんが、大いに有りだと思います。</p> <p>多忙化の1つの解消になるのかもしれない。</p>
教育委員	<p>そういう風に保険をかけるというのは、村上市は子供に手厚くしてくれているのだと思うのでいいと思います。</p>
市長	<p>今は細部の部分まできれいに検証しておりませんので、その辺をきれいに検証してもらい、当然お金もかかる話なので1人3,000円×4,000人で12,000,000円、子供たち全員にセイフティネットがかかるということになれば安全安心は良いのかと思うのですが。いくつかの課題もありますので、その辺も踏まえて検証させていただきます。</p>
5 次回の会議日程について 平成30年6月頃 正式な日程は5月の教育委員会定例会の開催時に配布	
8 閉会	